

## 1 中間振り返りの総括

### ・ 主な取組の進捗状況と課題認識

城東区は、4月に区政会議を開催して区の運営方針を明らかにし、「地域防災・防犯」、「地域福祉」「地域まちづくり」の分野に重点的に取り組んできた。「地域防災」の分野では、区内市立小・中学校22か所を津波避難ビルに指定し、「地域防犯」の分野では、防犯ブザーを区内の市立小学校全児童に配付するなど、取組は順調に進捗している。

「地域福祉」の分野では、地域での見守り体制強化のため、城東区を管轄する水道、電気、ガス、郵便局、新聞販売店と連携を図った。次に、区内幼稚園、保育所、医療機関との連携により、子育て支援情報誌の配架拠点が増加し、情報発信力を強化した。また、CDPD慢性閉塞性肺疾患の啓発が目標を達成するなど、取組は順調に進捗している。

「地域まちづくり」の分野では、地域活動協議会の各種取組等を広報紙やツイッターに積極的に情報発信するほか、「合唱祭」や「SARUGAKU祭」の参加協力団体が増え、城東区に昭和12～16年に実在した大阪万国技館へのマスコミの関心も高まっているなど、取組は順調に進捗している。

### ・ 今後の対応方向（9月以降における対応方向）

「地域防災」の分野では、福祉避難所への備蓄物資を配備し、「地域防犯」の分野では防犯カメラの設置を行う。

「地域福祉」の分野では、地域の福祉課題について校下ごとに地域福祉の担い手と意見交換を行い、がん検診啓発やいきいき百歳体操の拠点拡大に引き続き取り組む。

「地域まちづくり」の分野では、中間支援組織を活用し、地域活動協議会のホームページ、フェイスブックなどの立ち上げ支援等を行い、地域からの情報発信を促進する。

そのほか、待ち時間の短縮など区役所サービスの向上に不断に努めるとともに、区政運営について積極的に情報発信に努める。